2．東部地区

緑の目標・方針

託麻三山を背景とし、清らかな水をたたえる緑濃き江津湖をいだく、いきいきとした暮らしのある緑豊かな街を創ります。

＜緑の配置方針＞

○（北東区域）水源かん養域を保全する緑づくり

託麻三山に囲まれ、白川中上流域や広大な畑地帯の自然環境を保全するとともに、開発が進む地区では、緑の多いまちづくりにつとめ、森の都の地下水のかん養域となる緑の街を創ります。

○（中央区域）ゆとりのある暮らしの緑づくり

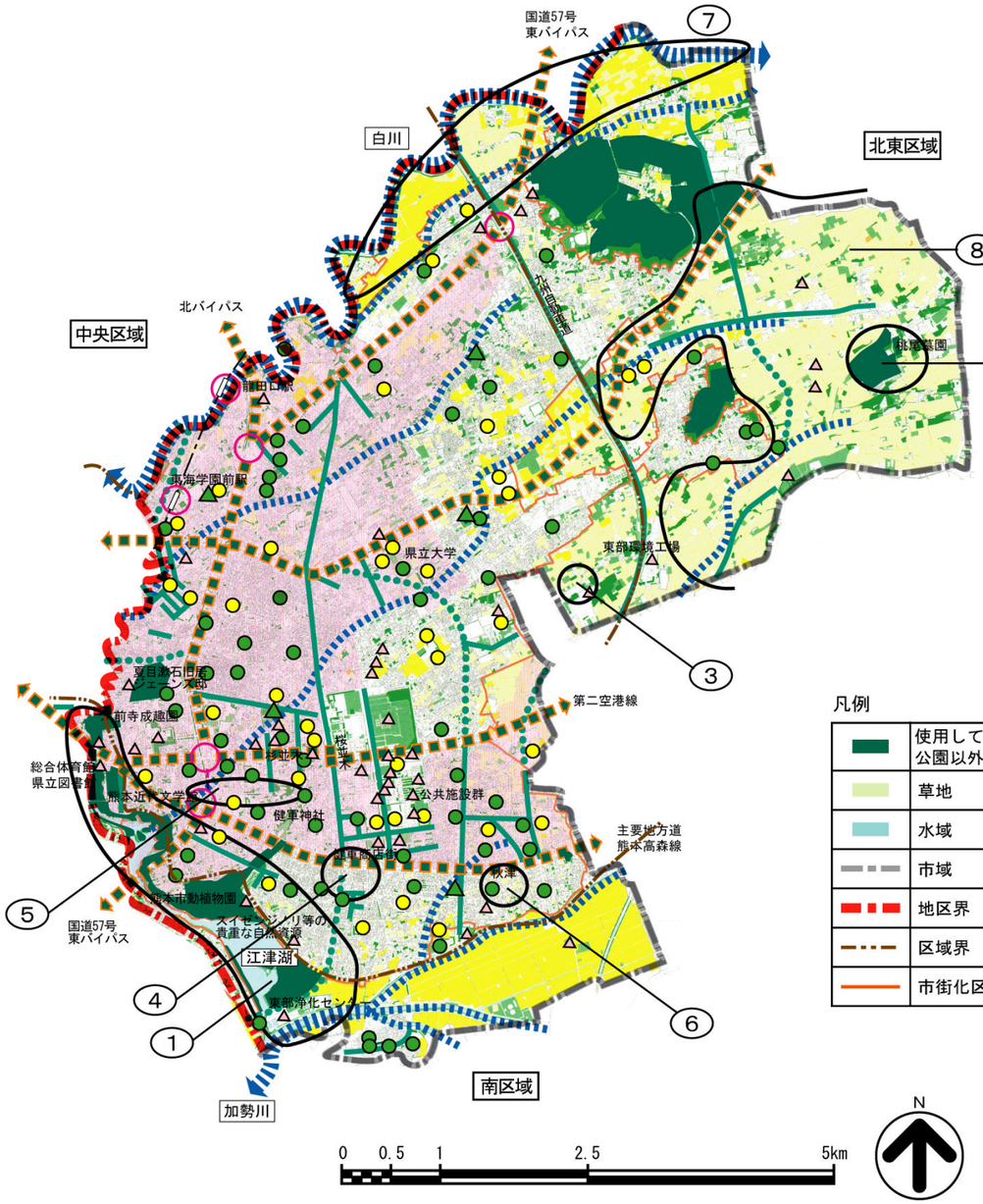
緑の*オープンスペースを確保するとともに、限られた空間の中で、生垣やベランダ緑化等、外に開かれた民有地の緑化を積極的に進め、ゆとりある緑の街を創ります。

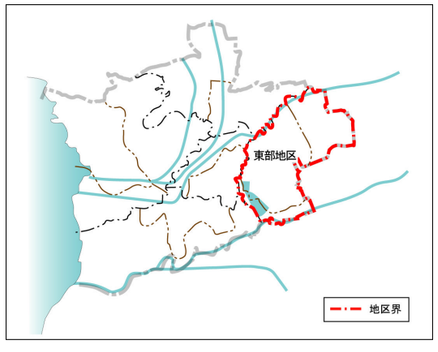
○（南区域）水辺の緑の豊かな地区の緑づくり

江津湖や水前寺周辺の自然環境を保全・活用し、森の都のシンボルにふさわしい緑の街を創ります。

東１	水前寺江津湖公園の整備と周辺地区の緑化推進
東２	桃尾墓園の拡張整備
東３	香りの森の利用活性化
◀■▶	都市軸となる幹線道路の街路樹の整備と育成（◁□▷ は街路樹のない区間）
◀▮▮▮▶	白川上流域の緑の保全と中小河川の親水空間の整備
東４	健軍商店街の潤いのある空間づくり
東５	健軍神社の樹林地の保全
東６	秋津の歴史資源と一体となった緑の街づくり
東７	白川上流河岸段丘の良好な斜面樹林の保全
東８	水源かん養域となる農地の保全

住区基幹公園 ● 街区公園 ▲ 近隣公園 ★ 地区公園	※1,000平方メートル以上を図示
▬	街路樹の整備と育成（●●●●● は街路樹のない区間）
○	学校の緑化推進
△	公共施設の緑化推進
▭	緑の少ない校区の緑化推進
○	交差点・駅周辺などの緑化推進
▬	良好な樹林の保全 （現況） 環境保護地区 3.9ha 保存樹木 113本
水田 畑地	農地の保全と活用





地区の現況

本地区は熊本市の東部に位置し、平坦な安定した台地で畑地として利用され、熊本市内における重要な地下水のかん養域となっています。ただ、最近では西から東へ宅地化が急激に進み、新興住宅地として様相を変えています。また、南側には市民のオアシスである江津湖が存在し、豊富な湧水に恵まれ、熊本市を代表する良好な水辺環境を形成しています。